

パソコンから教室新聞

今や必需品となりつつある「スマートフォン」。アプリを使いこなすのも機能の1つですが、その他、便利に使えることもあります。緊急時にも役に立ちます。

Wi-Fiのルーターとして

セルラー機能（電話回線への接続）が備わっていないタブレットやパソコンを、出先でインターネットに接続するためには、駅や街中で提供されている、「**フリーのWi-Fi接続**」を利用するのが手軽です。が、サービスエリアも限られていますので、どこでも繋がるというわけにもいきません。また、手軽であるがゆえに、セキュリティ対策がなされていないので、調べ物をするくらいには問題ないですが、ID、パスワードを使うような、重要な通信には不向きです。（通信が傍受される可能性があります）



そこで、登場するのがスマートフォンです。スマートフォンには「**デザリング**」機能が標準で備わっています。この機能でパソコンやタブレットなどをインターネットに繋げるルーターとして使うことができます。

使用するには、アンドロイドでは「デザリング」、iPhoneでは「インターネット共有」をオンにします。これでルーターとして使用できるようになります。それぞれ設定の中でネットワークID (SSID) とパスワードが確認できます。

パソコンなどではネットワーク設定などで、IDとパスワードを指定します。これでインターネットに接続できます。フリーのものとは違い、通信は暗号化されていますので安心です。但し、通信はスマートフォンの



小型発振器!?

鍵、財布、USBメモリや定期入れ...大事な小物を数えればきりがありませんが、小物だけに何処に置いたかわからなくなることや、うっかり落とし置き忘れたり、とトラブルもあります。また、自転車が盗まれた、広い駐車場に止めた車の位置がわからなくなった、など。



探し物にかかる時間は、結構長くなるのが常です。特に急いでいるときなど特に...。そんな時に役に立つのが居場所を示

してくれる「**紛失防止タグ**」です。

キーホルダー型の小さな「**タグ**」とスマートフォンで通信しあい、居場所を知らせるというもの。タグは2〜3千円くらいで購入できます。専用のアプリと組み合わせ、スマートフォンを通信追跡装置として使用します。

近くなら音を鳴らしたり、光らせたり。また、直接通信できるのは30mくらいですが、通信履歴（最後に受信できた場所も記録される）も確認できたり、利用者同士の通信位置を確認することもできます。

これで、捜し物をするのは、光らせたり、音で知らせたり、近くで上手く使えば鬼ごっこができますね。

緊急時には...

停電した時や、暗がりでは何か作業する時、夜道を照らす時など、その際は「**ライト**」の機能を使いましょう。カメラのフラッシュライターの部分がそのまま懐中電灯になります。

また、画面がロック状態のままでも緊急連絡として、警察、消防、海上保安庁に電話がかけられます。Androidではロック画面の「緊急通報」ボタンをタップし「110、118、119」番へ電話できます。iPhoneでは電源ボタンを5回素早く押すと、画面が変わりますので、連絡先を選択します。（画面が変わる前に警告音が大量で鳴ります。設定でオフにできます。）

さらに、緊急連絡先を登録しておく、位置情報をテキストメッセージで送ってくれます。

(iPhoneの機能)

確認しておきましょう

う。（くれぐれも緊急以外は通報されないように）



教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

